

# 令和3年1定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和3年3月12日

質問者 日本共産党 宮川 潤 議員

担当部課 総合政策部情報統計局情報政策課

質問要旨	答弁要旨
<p>三 道民生活について (二)行政のデジタル化等について 1 マイナンバーについて (1)行政サービス水準について 「北海道Society5.0推進計画(案)」では、「マイナンバー制度等を前提とした仕組み」が記載されています。マイナンバーカードを持たない人にも行政サービスを後退させてはなりません、どうお考えか。 オンライン申請を進める一方、これまでの窓口業務や従来の書面申請等の利便性は維持されるのですか、併せて伺います。</p> <p>(2)情報漏洩の危険性について 政府は、健康保険や運転免許証など、あらゆる分野でマイナンバーカードの公的個人認証を進めていますが、情報を紐付けすればするほど、攻撃の対象となりうるのではありませんか。情報漏洩の危険は、どんなに対策をとろうとしても、それを破壊しようとする者とのイタチごっこが収まることなく、マイナンバー制度は、全国民の個人情報を絶えず危険にさらすことになり、わが会派は、反対を表明していますが、この点での知事の認識を伺います。</p>	<p><b>【総合政策部長】</b> 行政サービスについてでございますが、マイナンバーカードは、オンラインで行政手続を行う際の電子証明書として必要なものであり、自宅から行政手続や確定申告を行えるなどのメリットがございますが、マイナンバーカードを所有されてない方々に対しましても書面による申請の受付などを通じて、必要な行政サービスが引き続き提供されることとなっております。</p> <p><b>【北海道知事】</b> セキュリティの確保についてであります。マイナンバー制度の運用にあたっては、個人情報等の漏洩防止が何よりも重要であり、ネットワークの分離や個人情報の分散管理などといったハード面の対策とともに、マイナンバー法において、関係職員への研修が義務づけられているほか、個人情報保護委員会による監査、監督が実施されるなど、ソフト面においても様々な対策が講じられております。 マイナンバー制度は、行政の簡素・効率化や国民生活の利便性の向上とともに、公平・公正な社会を実現するための基盤であると考えておりまして、道としては、個人情報の徹底管理に努めることはもとより、情報セキュリティの脅威の多様化を踏まえ、安全対策について不断の見直しを行うことを国に要請するなど、制度の円滑な運用が図られるよう、適切に対応してまいります。</p>